専門教育科目　講義科目

科目名：	人間関係の心理学	科目コード	EH92
		単位	2
科目主査：	末﨑 裕康　　担当講師：川島 忍、椎野 睦、田中 美歩、末﨑 裕康、松原 詩緒	配当年次	3･4

授業の目的と概要	グループワーク： ☑ あり ☐ なし	個人ワーク： ☑ あり ☐ なし

本科目は、心理学の研究分野の中でも特に人間関係にかかわる事柄を扱います。心理学において人間関係とは、様々な心理学領域で考察され、発展してきました。本科目では社会心理学の知見を中心に、人間関係の心理について理解を深めます。人間関係の基礎理論を理解し、日常生活におけるその活用を考えていきます。

担当教員の実務経験等	［担当教員の実務経験］ 主にNPO法人、職域病院、公立小・中学校、私立高校、大学等で臨床心理士・公認心理師として勤務。特に教育現場での心理支援（スクールカウンセリング、不登校・ひきこもり支援）に長年携わる。 ［実務経験に基づく項目］ 人間関係、コミュニケーション、自己意識、セルフモニタリング、対人関係、家族	
履修の前提となる科目	☐ あり　☑ なし	科目名：
履修の前提となる知識その他特記事項	事前にテキストを熟読し、わからない点や自信のない点があったら、マーキングし、質問ができるように準備してください。	
テキスト	『イラストレート人間関係の心理学』齊藤 勇, 誠信書房, 最新版	

この科目の到達目標	①人間関係にかかわる心理学の基本的な諸理論を理解する。 ②諸理論を理解することを通じて、自身の性格や行動を振り返ることができる。 ③理解した知識を自身の日常生活に反映させ、行動改善の一助とできる。
成績評価の方法	成績評価は、最終試験の得点に加え、授業態度やワークへの参加度、ワークを通じた成果物の内容も評価の対象とします。 ※スクーリング全日の出席、課題、最終試験の提出（白紙提出不可）をもって、採点対象とする。
事後学習	参考文献を熟読し、より広く深く人間関係についての心理学的知識を深めることをお勧めします。また自身のコミュニケーションについて振り返り、学習した知識と技術をより良い人間関係構築のために実践されることをお勧めします。
事後学習の参考文献	『はじめてふれる人間関係の心理学』榎本 博明，サイエンス社，2018年 『ワークショップ 人間関係の心理学』藤本 忠明/東 正訓（編）, ナカニシヤ出版, 2004年

スクーリング受講時に用意するもの

☑テキスト ☑筆記用具 ☑カメラ・マイクは必須となります。